

# 業種別業況動向調査結果

(令和5年7-9月期)

令和5年12月

北海道経済部経済企画課

■調査時期	令和5年10月
■調査方法	道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
■調査団体	機械（北海道機械工業会）、IT（北海道IT推進協会） 食品（北海道冷凍食品協会、北海道菓子工業組合） 商店街（北海道商店街振興組合連合会） 観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部） 建設（北海道建設業協会）、運輸（北海道トラック協会） 金融（北海道信用保証協会）、経済団体（北海道商工会議所連合会、 北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会）
■調査項目	I 一般調査 1 業界の動向 (1) 今期（令和5年7-9月期）の現状 ア. 業況感 イ. 売上高、売上単価 ウ. 原材料、燃料、仕入コスト エ. 収益 オ. 設備投資 カ. 雇用 キ. 資金繰り (2) 来期（令和5年10-12月期）の見通し 2 業界として抱える問題点・課題について 3 道の施策等に対する意見、要望について II 特別調査 1 原油・原材料価格等高騰の影響について 原油・原材料価格等高騰による団体業界への影響の有無とその具体的な内容、価格転嫁の進み具合と進んだ理由や進まない理由、価格転嫁以外の対応策等 2 人手不足の状況について 人手不足について、団体業界における充足の度合い、影響の程度とその具体的な内容や緩和に向けた対策等

## 目次

<u>北海道機械工業会</u>	・・・	P 1
<u>北海道IT推進協会</u>	・・・	P 6
<u>北海道冷凍食品協会</u>	・・・	P 10
<u>北海道菓子工業組合</u>	・・・	P 14
<u>北海道商店街振興組合連合会</u>	・・・	P 18
<u>全国旅行業協会北海道支部</u>	・・・	P 22
<u>日本ホテル協会北海道支部</u>	・・・	P 24
<u>北海道建設業協会</u>	・・・	P 28
<u>北海道トラック協会</u>	・・・	P 33
<u>北海道商工会議所連合会</u>	・・・	P 37
<u>北海道商工会連合会</u>	・・・	P 39
<u>北海道中小企業団体中央会</u>	・・・	P 45
<u>北海道信用保証協会</u>	・・・	P 63

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）北海道機械工業会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・<input checked="" type="checkbox"/>やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・業況の現況のうち、34.0%の企業が好転、16.7%の企業が悪化と回答したため。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>・35.3%の企業が増加、23.5%の企業が減少と回答。</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>・74.0%の企業が増加、1.7%の企業が減少と回答。</p>
エ. 収益の動向	<p>・27.8%の企業が増加、33.1%の企業が減少と回答。</p>
オ. 設備投資の動向	<p>・11.2%の企業が増加、10.1%の企業が困難と回答。</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>【人手不足の状況】</p> <p>・人手が不足していると回答した企業 74.4%。</p> <p>【採用人数について】</p> <p>・2023年7月からの採用人数について、0人と回答した企業が50.6%、1～5人と回答した企業が43.6%と採用にも苦しんでいる様子。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>【現況】</p> <p>・2.3%の企業が好転、8.1%の企業が悪化と回答。</p>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

**ア 業界団体における業況感**

・25.7%の企業が好転、23.1%の企業が悪化と回答。

**イ 売上高、売上単価の動向**

・35.1%の企業が好転、16.4%の企業が減少と回答。

**ウ 原材料・燃料・仕入コストの動向**

・68.8%の企業が上昇と回答。

**エ 収益の動向**

・28.2%の企業が増加、25.9%の企業が減少と回答。

**オ 設備投資の動向**

・14.7%の企業が増加、10.0%の企業が困難と回答。

**カ 雇用の動向**

・人手が不足していると回答した企業の割合は、前々回調査（令和5年4月調べ）で73.7%、前回調査（令和5年7月調べ）で73.8%、今回調査で74.4%と増加傾向にあり、今後も人手不足に悩まされる企業は多くなると予想される。

**キ 資金繰りの動向**

・4.1%の企業が好転、9.3%の企業が悪化と回答。

**2 業界として抱える問題点・課題について**

・当会の景況調査における経営上の当面の問題としては、原材料仕入価格上昇が63.5%と最も多く、次いで人手不足が60.9%、人件費増加が30.8%、諸経費の増加が29.5%、売上不振が23.7%であった。

**3 道の施策等に対する意見、要望について**

■電気料金の補助（3件）

■灯油・電気などのエネルギーコスト高止まりへの補助、抑制策を講じていただきたい。

■働き方改革の進め方の配慮が欲しい。大企業では可能でも零細企業には難しい。

■補助金の範囲拡充（大企業枠の緩和）

■電気代の高騰で経営が圧迫されている。原発再稼働など国に働きかけ等希望する。

■設備投資の補助金の拡充

■補助金等様々なメニューがあるものの、利用時の手続きが大変であり簡素化して欲しい。

■新規採用は困難であり、程度に差はあるにしても機械化・自動化の導入は不可欠であり、その分野での大規模かつ裾野の広い支援制度を望む。

■LPG補助金

■新規事業への補助金拡充

■製造向けの補助に力を入れて欲しい。

■PCB問題含めた高圧受電設備に対する補助促進事業

■大規模な金融緩和を維持した上での消費税・社会保険料等の大幅な減税／マクロ経済政策の実施

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・ 大いに影響がある    ·  影響がある    · 多少影響がある    · 影響はない    · わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

①原油価格の高騰に伴う具体的な影響の上位3つは下記のとおりであった。

- ・ 燃料費増加 63.5%
- ・ 原材料価格上昇 60.3%
- ・ 仕入れ価格上昇 54.5%

②原材料価格の高騰に伴う具体的な影響の上位3つは下記のとおりであった。

- ・ 仕入れ価格上昇 83.3%
- ・ 輸送コスト増加 62.2%
- ・ 価格転嫁できないことによる利益減少 25.0%

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・ 全てできている (10割)    · 概ねできている (9~6割)    ·  半ばできている (5~3割)    · ほとんどできていない (2割未満)    · 全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- お客様に現状を説明し理解をもらっている (10件)。
- 愚直な価格交渉活動による (4件)。
- 定価 (売価) を引き上げた (3件)。
- 業界全体で価格転嫁されているので見積にも反映しやすい (2件)。
- 現状 (仕入れ品等価格上昇) の説明と陳情
- 契約条件の明確化
- 販売価格を自社で決定できるため。
- 取引先 (親会社) が転嫁のガイドを設けて実施してくれた。
- 期日を区切ったの価格の交渉
- 原材料、資材等は時価にて見積算定しているため。
- 資材・電気・ガス料金高騰による見積金額の変更理由を元請に説明し、理解を促した。
- 数回に渡る値上げ根拠への資料の提出
- 顧客との良好な関係により理解してもらった。
- 個別受注品は見積時に上乘せするも、コンペチ対応で30%程度が限界
- 量産品は協定価格見直しを申し入れるが50%程度転嫁で妥協

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- 取引先との折合がつかないため（4件）。
- 競合すると転嫁は難しい（3件）。
- 契約時の値上げ見込み分を大幅に超える仕入・原材料の値段により工賃値上がり
- なかなか、一度に値上げはお願いできない。
- 仕事量減少により価格転嫁が進まない。
- 当社は素材卸売業であり、市況ならびに道外からの安値流入材との値段差（安価なものが流入してくる）を無視することはできず、どうしても幾分か”積み残し”は発生してしまう。
- 価格転嫁以上に、材料費・燃料費の高騰が進んでいる。
- 経費の転嫁はおおむね認められているが、人件費に伴うサービス技術料の転嫁は実状なかなか進まない。
- 原価管理が出来ていない。売値を上げると仕事が取れないという先入観念
- 高騰に対するエンドユーザーの姿勢。メーカーによる対応の違い
- 道内全体の仕事量（物件数）が少ない中で仕事を受注するには見積で価格転嫁がしづらい。
- 原油、原材料、電気・ガス等の価格が安定しないため、先方との取り決めが中々進展しない。
- 顧客の指値受注のため。
- 現在製作している製品は1年以上前に受注した製品で、資材等の高騰予想をはるかに上回っている状況で、思うように値上げ交渉が進んでいない。
- 鉄鋼材料の価格変化が、あまりにも急激すぎて客先との交渉困難
- 受注後、客先に納めるまでの工期が長く、受注後の価格高騰は内部で吸収せざるを得ない。
- 原材料については価格転嫁進んでいるが、電気料等については応じてもらえない取引先が多い。
- 転嫁した見積を提出してもそこから削られるため、結果的に材料費の分を回収できていない。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- 生産過程の見直し／業務効率化（10件）
- 仕入業者の見直し（10件）
- 経費削減（9件）
- 節電（3件）
- 追加変更金額の回収率上昇
- 代替品の減少
- 働き方改革の推進により最終的に時間外労働の低減につなげて、固定費を確保する。
- 省エネルギー設備への更新
- 在庫の削減
- 在庫回転率の向上
- 輸送方法見直しによる運賃の削減
- 安値材の仕入れによる在庫平均簿価の引き下げ
- 設備補修にて原単位改善
- 外注加工品の内製化
- 現金仕入を多くしている。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	<input checked="" type="checkbox"/> ・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> ・ 不 足	<input type="checkbox"/> ・ 充 足	<input type="checkbox"/> ・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	<input type="checkbox"/> ・ 非常に不足	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 不 足	<input type="checkbox"/> ・ 充 足	<input type="checkbox"/> ・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<input checked="" type="checkbox"/> ・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に深刻な影響を受けている	<input type="checkbox"/> ・ 一定の影響を受けている	<input type="checkbox"/> ・ 現在のところ影響はない
--	--	--

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 専門技術者 82.8%</li><li>・ 一般職男性 44.8%</li><li>・ 一般職女性 7.8%</li><li>・ パート 6.9%</li></ul>
---

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<p>人手不足であると回答した企業のうち、人手不足に対する対策についての上位3つは下記のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中途採用 72.4%</li><li>・ ハローワークの活用 57.8%</li><li>・ 従業員の定年延長 35.3%</li></ul> <p>また、具体的な対策としては下記のものがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校訪問</li><li>・ 外部発注</li><li>・ 人材派遣会社の活用</li><li>・ 機械化・自動化の推進及び業務の効率化</li><li>・ 機械関係に長けた人材の発掘、採用</li><li>・ 障がい者の採用</li></ul>
---

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）北海道 IT 推進協会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・<input checked="" type="checkbox"/>やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXの推進により、業況はやや良い。ただし、人材不足により、受注を増やせない企業も多い。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高はやや増加。首都圏の企業を中心に売上単価アップを認めてくれる企業が出始めた。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気料金・ガソリン・半導体の価格は高止まり。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや増加</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に新規投資は見受けられない。</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規・非正規とも多くの企業で人手不足感がある。</li> <li>・新規採用・中途採用に力を入れている企業が多い。</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題はない。</li> </ul>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

ア. 今期と同様  
イ. 今期と同様  
ウ. 外注費のコストアップ、原油の高騰により電気料金・ガソリン代等は高止まり。  
エ. やや増加。人件費等のアップが売上単価に反映できなければ悪化も懸念される。  
オ～キは、今期と同様

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- ・自治体システムの標準化・共通化への対応
- ・人材の確保とともに、クラウド・AI・IoT等新たな技術分野やプロジェクトマネジメントスキルの習得など人材の育成

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・道内IT企業が求める人材確保・育成支援施策の拡充・強化
- ・DX推進に係る施策の拡充・強化
- ・ラピダス社の調達内容に関する情報提供
- ・ラピダス社の進出に対応したデジタル人材の育成

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある    ・影響がある    ・**多少影響がある**    ・影響はない    ・わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・燃料費・電気料金の上昇によるコストの増加

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている (10割)    ・概ねできている (9～6割)    ・半ばできている (5～3割)    ・**ほとんどできていない** (2割未満)    ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・なし

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・他社との競争が厳しい (入札・見積合わせ)。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・経費削減

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	--	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

・ 需要増への対応困難・機会損失等
-------------------

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

・ 新規採用、中途採用の強化
・ 賃金の引き上げ

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）北海道冷凍食品協会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格転嫁が原価アップにともなっていない。</li> <li>・猛暑の農産物への影響（収量・品質）を懸念。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高 やや増</li> <li>・売上原価 増</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト 増</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横ばい又は悪化、企業による。</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報なし</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的な人手不足（正規・非正規とも）</li> <li>・雇用促進のため人件費が増加の傾向</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に情報なし</li> </ul>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・猛暑の影響により生鮮野菜の高騰が伝えられ、冷凍野菜製品への需要が増すものとおもわれるが、同じく、冷凍原料の品質への影響に懸念を持っている。
- ・需要と供給のバランスがとれるかが不明
- ・人手不足により、原料があっても生産できない状況も考えられる。
- ・10月～12月は、今年の農作物の収穫の状況を注視し、来年への見通しを立てる時期になるかもしれない。

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- ・ 高温の年だった令和5年度の農作物への影響が不明。多くの作物で良くないとの見通し。
- ・ 生産数量の歩留りへの影響を懸念
- ・ 来年度前半の原料不足を懸念

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・ 人手不足に対策を望む。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・大いに影響がある    ・影響がある    ・多少影響がある    ・影響はない    ・わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・価格への転嫁が進まない場合は、利益の減少をとまなう。  
・企業の経費削減の努力には限界があり、現状は対応に苦慮している。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・全てできている (10割)    ・概ねできている (9～6割)    ・半ばできている (5～3割)    ・ほとんどできていない (2割未満)    ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・販売先・消費者の、原材料費アップによる原価上昇・価格転嫁の必要性の理解が進んだ。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・原価アップと価格転嫁のタイミングが合わない。  
・末端消費者までいくつかの卸業者を通るため、価格転嫁交渉に時間がかかる。  
・中小企業では、価格のコンペに対応できない。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<input checked="" type="checkbox"/> 非常に深刻な影響を受けている	<input type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	<input type="checkbox"/> 現在のところ影響はない
--	--------------------------------------	--------------------------------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・利益減少（外注費や人件費などのコスト増）</li><li>・取引先・顧客離れ</li><li>・事業の縮小・停滞</li></ul>
---

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・賞与や賃金の引き上げ</li><li>・設備導入等による省力化・合理化</li><li>・事業の縮小、見直し</li></ul>
---

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：北海道菓子工業組合

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・需要の増加は見込めるものの、それ以上の経費の増加が見受けられる。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	・売上単価及び売上額も概ね5%以上増加していると思われる。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	・10%近く増加している。
エ. 収益の動向	・売り上げの増加分で仕入れコスト等の増加分を賄っていない。
オ. 設備投資の動向	・老朽化による買い替えは、補助金の活用による投資が一巡している。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	・引き続き、不足しており、新規の需要や新規の出店はしにくい状況にある。
キ. 資金繰りの動向	・特別悪化してはいないが、良くなる気配は感じられない。

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

・人件費増や人材確保についての見通しが悪く、良くて現状維持と思われる。

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- ・後継者不足が顕著で、廃業のタイミングを見計らっているところがあると感じる。

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・各地でお菓子屋の廃業が相次いでいるが、お菓子屋は、地域の青少年をずっと見守ってきた側面があり、そうした文化が消えていこうとしていることを懸念している。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある   ・影響がある   ・多少影響がある   ・影響はない   ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・1回の輸送に対しての発注数量が減少しており、おのずと運送費の経費比率が増加してしまっている。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている (10割)   ・概ねできている (9～6割)   ・半ばできている (5～3割)   ・ほとんどできていない (2割未満)   ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

・社会状況に対して全体的に理解されている。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・どういった場合であっても、競争は一定程度あるので、価格転嫁が理解されるのに不安を感じ値上げや値上げ幅をためらってしまう。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

・非接触の販売形態を増やして、営業時間の縮小分や販売人件費の削減につとめている。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 募集しても集まらない。</li><li>・ 就業意識の低下</li><li>・ 人づくりしづらい。</li></ul>
---

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 働きやすい職場環境を整える。</li></ul>
--

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：北海道商店街振興組合連合会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・<input checked="" type="checkbox"/>横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の分類が5類移行後、コロナ禍前の水準に商店街への人流が回復しつつある。</li> <li>小売りは上向きで、観光客等の飲食店利用が増えつつあるが、地方では回復している店とそうでない店の二極分化も見られ、空き地や空き店舗の増加も見られる。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の分類の5類移行に伴い、外出機会が増えた事など、売上高は若干の上昇傾向。単価も札幌など都心部商店街のインバウンド回復により上昇傾向。</li> <li>地方では回復している店とそうでない店の二極分化も見られ、売上高・単価とも低下との感触もあり。</li> <li>再開しつつある地域のイベント・お祭り等への来場者数・売上げは好調。</li> <li>物価高騰や円安、国際情勢による影響等、消費意欲が低下傾向にあるが、価格転嫁が客離れに影響してか、売上向上には繋がらない模様。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料・燃料・仕入コストは上昇が継続。また、円安基調が進み、原油価格の高騰は物流コストだけでなく、飲食店の食材などをはじめとする原材料などの仕入れ価格にも波及しており、価格転嫁が進まない中で厳しい状況が続いている。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料価格や各種コストが上昇、物価高で収益はほとんどが低下している。</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、円安や原材料、エネルギー価格の高騰など経済の先行きが見えないこともあり、設備投資の動向は目立った動きはない模様。</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性的な人手不足であり、特に飲食店のアルバイトが深刻な模様。</li> <li>地方では若手が流出し、欲しい人材が地元に残らない。</li> <li>なお、個店は少人数の経営が多く、人手不足であるもののさほど大きな影響を受けていない、あるいは雇用する余裕がないところもある。</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金繰りは引き続き厳しさが見受けられ、このままコスト上昇が進めば悪化することが懸念。</li> <li>特に、コロナ関連融資の借入金の返済が本格的に始まっており、厳しさを増している。</li> </ul>

(2) 来期（令和5年10～12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・ 行動制限解除後、ハロウィンをはじめ収穫祭など秋祭り等が計画されていることや、歳末商戦に向けて、商店街への本格的な人流回復が期待される。
- ・ なお、原油・原材料価格の高騰や円安、国際情勢による影響等が長引き、コロナ関連融資の借入金の本格的な返済など、経営体力の弱い事業者における価格転嫁の遅れ、深刻化する人手不足に伴う賃上げなど労働力の維持・確保も厳しさを増すことが懸念。

**2 業界として抱える問題点・課題について**

- ・ 商店街活動や商店街組織に係わる人材不足・高齢化。
- ・ 商圏人口の減少や購買力の他地域への流出、景気低迷など。

**3 道の施策等に対する意見、要望について**

- ・ 補助金等の申請書の作成が難しいことから、簡易な申請書様式を要望。
- ・ 以前の予算規模と同程度の補助制度や、使い勝手の良い補助制度の創設。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・  大いに影響がある    ・  影響がある    ・  多少影響がある    ・  影響はない    ・  わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・ 仕入価格や燃料費等の増加で経営を圧迫。  
・ 消費への悪影響など。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・  全てできている (10割)    ・  概ねできている (9～6割)    ・  半ばできている (5～3割)    ・  ほとんどできていない (2割未満)    ・  全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 価格転嫁による商品価格の上昇で、戻りつつある来街者が再び離れてしまう懸念など。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・ 電気料金の高騰は経費節減など経費の見直し。  
・ 新型コロナの5類移行に伴うインバウンドやシニア観光客に期待。  
・ 人手不足には賃金上昇も必要。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ アルバイトを募集しても応募自体が非常に少なく、経営者の過重労働など店主側の負担が増加している。</li><li>・ 生産性やサービス等の低下が懸念。</li><li>・ 利益が向上しない中では新たな採用は難しい。</li></ul>
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人手確保のため賃金引き上げが最も即効性のある対策であるが、個店では賃上げの余裕がない。</li></ul>
---

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）全国旅行業協会北海道支部

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・<b>横ばい</b>・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>・物価の高騰、バス料金の値上がり、宿泊費の値上がり</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	・横ばい
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	・厳しい
エ. 収益の動向	・厳しい
オ. 設備投資の動向	・なし
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	・なし
キ. 資金繰りの動向	・厳しい

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

### 2 業界として抱える問題点・課題について

### 3 道の施策等に対する意見、要望について

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・大いに影響がある   ・影響がある   ・多少影響がある   ・影響はない   ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

・バス代金の値上げ

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・全てできている   ・概ねできている   ・半ばできている   ・ほとんどできていない   ・全くできていない  
(10割)                   (9～6割)                   (5～3割)                   (2割未満)                   (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

・物価の値上がり  
・宿泊料金の高騰

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

### 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

正規   ・非常に不足   ・不足   ・充足   ・過剰

非正規   ・非常に不足   ・不足   ・充足   ・過剰

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）日本ホテル協会北海道支部

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<b>やや悪い</b>・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊の好調にけん引され、コロナの前の収益をとり戻しつつあるものの、飲食付き宴会の低迷が懸念材料であること。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊については7月8月が稼働率でコロナ前に近づき、単価がコロナ前を上回り増収傾向。</li> <li>・レストランは収入・単価とも前四半期並み。</li> <li>・宴会は法人需要が回復基調にあるが、コロナ前には届かず。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてにおいて値上げが顕著。</li> <li>・前四半期同様、電気料金の負担増が大きい。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前の2019年に対しては約2割程度の減。</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金繰り、資金調達に対する不安要素が大きく、大きな設備投資には消極的。</li> <li>※一部ではアフターコロナを見据え投資する動きも</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期同様 正規、非正規ともに不足傾向。</li> <li>・コロナ期間の人員縮小（退職、休業、出向）からの反転期にあり、人手不足が顕著である。新規採用も再開しているもののホテル業の求人人が集まらない（不人気・不安）。</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関の対応は不変。</li> <li>・設備投資より運転資金の調達が主と思われる。</li> </ul>

## (2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・宿泊は、前四半期は7月8月の好調に支えられコロナ前とほぼ同様の収益をあげたものの、閑散期となる10-12月は厳しい状況と見込まれる。冬季のインバウンド需要に期待したい。
- ・レストランはホテル利用の安心感から前四半期に続き順調で、10-12月期も好調であるが、コロナ期に縮小・統廃合などを重ねた結果、収益的には厳しい。
- ・宴会部門は会議等の開催は多くなってきているが、忘年会等飲食を伴う大人数の宴席については10-12月期についても厳しい状況。
- ・全体的に要員不足、原材料の値上げ対策が不可欠。

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- ・人材確保と省力化  
コロナによりスタンダードであったサービスが変わりつつあり、いかに対応しニューノーマルの中、収益を上げていくかが課題。
- ・コスト増対策  
食材の高騰に対しては一部価格転嫁等の対策を講じているものの、水道光熱費の高騰は装置産業であるホテル業には負担が大きい。

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・コロナ禍の中、宿泊施設向けに様々な割引・支援が行われ、中断期間はあるものの一定の動きがあり非常にありがたく感謝いたします。  
また海外からの渡航も再開し期待しているが、空港での受け入れ態勢も整備しなくてはコロナ前同様の便数とはならないのではと危惧している。
- ・上記1（2）のとおり飲食を伴う宴会等の動きが鈍く、行政、関連団体等が率先して飲食付き宴会を開催いただくことで（感染対策の徹底を前提として）民間企業のベンチマークとなっていたきたい。  
併せて水道高熱費等の高騰に対する助成事業の実施（中小企業への助成は実施済）や、旅館・ホテルにとどまらず観光業界全体の人材確保対策をお願いしたい。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・大いに影響がある   ・影響がある   ・多少影響がある   ・影響はない   ・わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・食材・備品関係の値上げ  
・水道光熱費（特に電気・ガス）の高騰

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・全てできている (10割)   ・概ねできている (9～6割)   ・半ばできている (5～3割)   ・ほとんどできていない (2割未満)   ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・一部販売価格の改訂や営業形態の変更を行った。  
また昨今の社会情勢から飲食に関する価格改定については顧客の理解も得やすい状況にある。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・前記II 1 (2) にも記載したが水道高熱費の高騰は値上げ幅が大きく価格転嫁レベルではない

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・メニュー内容の変更  
・営業形態の変更等

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input checked="" type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 客室清掃や朝食等のレストランサービス、調理スタッフの不足により受注制限を行うこともあり、売上の機会損失。</li><li>・ 調理等専門技術の伝承への懸念。</li></ul>
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 採用活動の強化</li><li>・ タイミーなど新規人材確保スタイルの導入検討</li><li>・ 外国人労働者の採用検討</li></ul>
---

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）北海道建設業協会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元建設産業の景気は、「悪い」傾向が続いている。</li> <li>・地区別の道東は「悪い」傾向がやや強まっている。</li> <li>・完工高別の5億円未満は、「悪い」傾向が強まっている。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注総額は、「減少」傾向が続いている。</li> <li>・官公庁工事は、「減少」傾向がやや強まり、民間工事は「減少」傾向が続いている。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の調達は、「困難」傾向がやや弱まっている。</li> <li>・資材価格は、「上昇」傾向が続いている。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益は、「減少」傾向が続いている。</li> <li>・収益の「減少」理由をみると、「完成工事高の減少」（63.1%）が最も多く、次に「資材価格の上昇」（61.9%）、「人件費の上昇」（59.5%）の順となっている。</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不明</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>【人手の過不足の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設労働者の確保は、「困難」傾向が続いている。</li> </ul> <p>【雇用調整等の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不明</li> </ul> <p>【当面の採用予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不明</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金繰りは、「容易」傾向が続いている。</li> <li>・支払手形の平均サイトは、「90日以内」（70.4%）、「91日～120日」（26.6%）の順となっている。</li> <li>・受取手形の平均サイトは、「91日～120日」（50.0%）、「90日以内」（43.8%）の順となっている。</li> </ul>

(2) 来期（令和5年10－12月期）の見通しについて  
上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

○業界団体における業況感

- ・悪い傾向が続く見通し。

○売上高、売上単価の動向

- ・受注総額は「減少」傾向が続く見通し。
- ・官公庁工事は「減少」傾向が続き、民間工事は「減少」傾向がやや強まる見通し。

○原材料・燃料・仕入コストの動向

- ・資材の調達は、「困難」傾向はやや弱まりつつあるも、今後も続く見通し。
- ・資材価格は、「上昇」傾向がやや弱まる見通し。

○収益の動向

- ・「減少」傾向がやや強まる見通し。

○雇用の動向（人手の過不足の状況）

- ・困難傾向がやや強まる見通し。

○資金繰りの動向

- ・「厳しい」傾向に転じる見通し。

## 2 業界として抱える問題点・課題について

・経営上の問題点は、①人手不足 ②従業員の高齢化 ③受注の減少 が上位三項目となっており、「人手不足」は28期連続で経営上の問題点1位。同じく「従業員の高齢化」は27期連続で2位となっている。

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・時間外労働の上限規制を守るため、中建審が勧告した「工期に関する基準」については、自治体（市町村）に対して、国の基準に準ずるよう要請し、民間発注者を含むすべての発注者に周知をお願いします。
- ・激甚化、多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤整備の形成のためにも「北海道強靱化計画」に基づく施策の推進をお願いします。
- ・「労務費、原材料費、エネルギーコスト等の高騰の状況を踏まえた対応について」（令和5年6月8日付）が経済産業省・国土交通省より地方自治体や主要民間発注者に対して発出されておりますが、これらの要請を踏まえ、北海道として市町村や民間発注者への指導をお願いします。特に民間発注者については、直近の資材価格の調達や状況を反映した価格や工期での契約締結となるよう指導をお願いします。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・大いに影響がある    ・影響がある    ・多少影響がある    ・影響はない    ・わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・車両・重機等の燃料費の増加  
・材料仕入れ価格高騰による収益の減少

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・全てできている (10割)    ・概ねできている (9～6割)    ・半ばできている (5～3割)    ・ほとんどできていない (2割未満)    ・全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・工事では、変更要因が無ければ契約額とすることが慣例であり、積極的な価格交渉ができない。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・工期短縮による経費削減

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ 非常に不足	・ <input type="checkbox"/> 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 売り上げ減少（人員不足による受注機会損失）</li><li>・ 利益減少（労務費及び人件費の上昇）</li></ul>
---

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 賞与や賃金の引き上げ</li><li>・ 定年制の延長</li><li>・ ICT 施工・DX の推進</li></ul>
---

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（公社）北海道トラック協会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p>
	<p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送量は減少傾向であり、燃料・油脂をはじめとする運送コストが値上がりしており、価格転嫁も進んでいないため。</li> </ul>
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の理由により全体的には低調な推移が続いている。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料（軽油）及び油脂やタイヤなどの全ての消耗品価格が値上がりの状況が続いており、加えて車両本体価格の値上げや車両納期の遅れが続いている。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送量の低調な推移が続いており、加えて燃料をはじめとした輸送コスト全体の上昇により収益が悪化している状況が続いている。</li> </ul>
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益が悪化している状況であり、車両代替え等の設備投資は進んでいない。</li> </ul>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライバー及び荷役作業員等の新規雇用が進んでおらず、加えてドライバーの高齢化等により、ドライバー不足の状況が続いている。</li> </ul>
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金繰りについては、大きな変化は見られない。</li> </ul>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<ul style="list-style-type: none"> <li>荷種によっては年末年始に向けての一般消費者の一時的な需要増加が見込まれるが、燃料価格の高騰などコスト増について改善が見込めないため、全体的には今期と同様の傾向が続く見通し。</li> <li>燃料価格高騰などの価格転嫁は大手企業の一部では進んでいるが、中小企業については進んでいない状況。</li> </ul>
--

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- ・2023年4月からの60時間超の割増賃金率の引き上げに加え、2024年4月からの運転者の時間外労働の上限規制など「2024年問題」への対応も課題となっているが、荷主の協力も必要となることから、特に中小企業については対応が進んでいない。

また、価格転嫁が進まない事から収益も上がらず、運転者の労働環境改善も進められない。そのため人材確保も進まないという悪循環の状態である。

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・国が掲げる「物流革新に向けた政策パッケージ」と連動した支援等の実施
- ・燃料価格高騰に対するトラック運送事業者への追加支援策を望む。
- ・景気浮揚対策を望む。
- ・北海道内の高規格幹線道路及び一般道のインフラ整備促進を望む。
- ・北海道ブランドの維持・拡大のため、道外へ輸送するための物流コストに対する支援を望む。
- ・公共事業の輸送費関連の積算単価はやや上昇しているが、事業受託企業から実運送事業者へ支払われる輸送費が原価割れを起こす事例もあり、適正な運賃が支払われるよう指導される事を望む。
- ・公共事業の工期が集中しており、ドライバー不足等により車両の確保が出来ない事例があるので、公共事業の工期の平準化等の対策を望む。
- ・災害時等における、道路の安全確保対策と燃料の安定供給・確保対策を望む

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

- ・  大いに影響がある ・  影響がある ・  多少影響がある ・  影響はない ・  わからない

(2) (1)による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- ・ 貨物自動車運送にとって燃料（軽油）は必要不可欠であり、原油価格の高騰は経営に直接影響する費目である。
- ・ 燃料価格の上昇分を運賃・料金に転嫁することが必要であるが、荷主との力関係等により交渉が進まないケースが多く、自助努力にも限界があり経営を圧迫している状況にある。
- ・ 上部団体と連携して国等に対し「燃料油価格激変緩和補助金」の延長など対策を要望している。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・  全てできている ・  概ねできている ・  半ばできている ・  ほとんどできていない ・  全くできていない  
(3割程度)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 当協会でも「2024年問題」や燃料高騰における影響等、新聞広告等で一般消費者等に周知していることもあり、トラック運送業界に理解を示す荷主企業は増えてきている。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- ・ 荷主企業との力関係や他社との競合により交渉が進まず、また、荷主企業自体も原料コスト高などの影響を受けているため、交渉が進まない。（※特に中小企業）

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

- ・ 経費節減（輸送効率化等）には取り組んでいるが、荷主企業等の協力も必要であり、自助努力だけでは効率化は難しく、コスト増分を自社負担して対応せざるを得ない。
- ・ ごく一部の企業では他社との共同輸送など取り組んでいる。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input checked="" type="checkbox"/> 正 規	・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足 (ドライバー)	・ 不 足	・ 充 足	・ 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	・ <input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足 (荷役作業員等)	・ 不 足	・ 充 足	・ 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

・ 非常に深刻な影響を受けている	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	・ 現在のところ影響はない
------------------	---	---------------

※今後は「非常に深刻な影響を受ける」事が予想される、

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ ドライバー不足の為、新規運送依頼があっても断らざるを得ない事業者もある。</li><li>・ 高齢化も進んでおり、今後、ドライバー不足が深刻になると物流が停滞する可能性がある。</li></ul>
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 若年層の労働人口が少ない中、ドライバーを増やすためには労働環境改善（賃金、労働時間短縮）が不可欠である。 そのためには運賃水準を高くする必要があり、最低でも国土交通省が告示している「標準的な運賃」を収受出来る環境整備が必要である。 また、ドライバーの労働時間短縮の為、運送事業者では輸送ルートや配送日数の見直し等の輸送効率化を進めたいが、荷主の理解・協力が不可欠であり、運送事業者だけでは進められない事が課題。</li><li>・ 当協会では荷主に対して運送業界の現状や「標準的な運賃」などについての広報活動等を実施し、運送事業者と荷主が交渉しやすい環境整備を進めている。</li></ul>
--

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：（一社）北海道商工会議所連合会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>現状（7-9月期） ⇒ 見通し（10-12月期） ※前年同期比 増加-減少</p> <p>全業種 △ 4.9 ⇒ △ 8.5 製造 △ 6.9 ⇒ △11.5 建設 △15.8 ⇒ △ 9.8 卸売 △ 1.7 ⇒ △10.1 小売 0.0 ⇒ △ 3.0 サービス 0.0 ⇒ △ 8.3</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>現状（7-9月期） ⇒ 見通し（10-12月期） ※前年同期比 増加-減少</p> <p>全業種 4.0 ⇒ △ 2.1 製造 18.4 ⇒ 0.0 建設 △25.0 ⇒ △21.1 卸売 1.7 ⇒ 5.0 小売 12.1 ⇒ △ 1.5 サービス 13.1 ⇒ 7.2</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	<p>今期の水準（7-9月期） ※黒字-赤字</p> <p>全業種 1.3 製造 △ 8.4 建設 17.8 卸売 △ 1.7 小売 0.0 サービス △ 1.0</p> <p>⇒来期の水準（10-12月期） ※前年同期比、黒字-赤字</p> <p>全業種 △ 15.1 製造 △ 20.7 建設 △ 23.7 卸売 △ 11.7 小売 △ 1.5 サービス △ 17.7</p>

<p>オ. 設備投資の動向</p>	<p>実施した（7-9月期） ⇒ 実施予定（10-12月期）  ※単位：％</p> <p>全業種 22.8 ⇒ 21.2  製造 29.8 ⇒ 26.8  建設 30.3 ⇒ 19.2  卸売 15.3 ⇒ 19.0  小売 21.5 ⇒ 17.2  サービス 17.0 ⇒ 23.7</p>
<p>カ. 雇用の動向</p> <p>※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>今期の水準（7-9月期）  ※過剰-不足</p> <p>全業種 △27.0  製造 △20.3  建設 △41.8  卸売 △33.3  小売 △ 9.5  サービス △30.3</p>
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>現状（7-9月期） ⇒ 見通し（10-12月期）  ※前年同期比、好転-悪化</p> <p>全業種 △10.9 ⇒ △ 8.1  製造 △11.8 ⇒ △12.5  建設 △12.0 ⇒ △ 8.0  卸売 △15.0 ⇒ △ 6.6  小売 △ 6.2 ⇒ △ 6.2  サービス △ 9.3 ⇒ △ 7.3</p>

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：北海道商工会連合会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲2.0 P            【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲20.0 P            【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲27.8 P            【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲11.8 P</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>■売上高</p> <p>【製造業】 売上(加工)額 前年同期比 DI 値＝ 0.0 P            【建設業】 完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値＝▲17.8 P            【小売業】 売上額 前年同期比 DI 値＝▲2.4 P            【サービス業】 売上(収入)額 前年同期比 DI 値＝ 8.2 P</p> <p>■売上単価</p> <p>【製造業】 売上(加工)単価 前年同期比 DI 値＝32.0 P            【建設業】 —            【小売業】 客単価 前年同期比 DI 値＝ 2.4 P            【サービス業】 客単価 前年同期比 DI 値＝ 9.2 P</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>■原材料仕入単価</p> <p>【製造業】 原材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝83.7 P            【建設業】 材料仕入単価 前年同期比 DI 値＝75.0 P            【小売業】 商品仕入単価 前年同期比 DI 値＝69.9 P            【サービス業】 仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値＝63.3 P</p>
エ. 収益の動向	<p>■採算（経常利益）</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値＝▲8.0 P            【建設業】 前年同期比 DI 値＝▲24.5 P            【小売業】 前年同期比 DI 値＝▲25.3 P            【サービス業】 前年同期比 DI 値＝▲24.6 P</p>
オ. 設備投資の動向	<p>■設備投資の実施</p> <p>【製造業】 回答 50 社の内、5 社実施            (投資内容)            生産設備＝3社、工場建物＝2社、車両運搬具＝1社</p> <p>【建設業】 回答 45 社の内、9 社実施            (投資内容)            車両・運搬具＝3社、土地、建物、OA 機器＝各 2 社、建設機械、その他＝各 1 社</p>

	<p>【小売業】 回答 83 社の内、4 社実施 (投資内容) 販売設備=2 社、車両・運搬具、OA 機器=各 1 社</p> <p>【サービス業】 回答 110 社の内、14 社実施 (投資内容) 車両・運搬具=7 社、付帯施設=3 社、サービス、OA 機器=各 2 社、 建物、その他=各 1 社</p>
<p>カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>【製造業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 6.6 P</u></p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲11.6 P</u></p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 3.3 P</u></p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 1.0 P</u></p>
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>【製造業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 6.1 P</u></p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 9.1 P</u></p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲19.5 P</u></p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲16.6 P</u></p>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>■業況</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲10.0 P</u></p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲17.7 P</u></p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲30.2 P</u></p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲20.9 P</u></p>	
<p>■売上高</p> <p>【製造業】 売上(加工)額 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 2.0 P</u></p> <p>【建設業】 完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 8.9 P</u></p> <p>【小売業】 売上額 前年同期比 DI 値 = <u>▲13.2 P</u></p> <p>【サービス業】 売上(収入)額 前年同期比 DI 値 = <u>▲ 8.2 P</u></p>	
<p>■売上単価</p> <p>【製造業】 売上(加工)単価 前年同期比 DI 値 = <u>18.0 P</u></p> <p>【建設業】 ×</p> <p>【小売業】 客単価 前年同期比 DI 値 = <u>0.0 P</u></p> <p>【サービス業】 客単価 前年同期比 DI 値 = <u>0.0 P</u></p>	
<p>■原材料単価</p> <p>【製造業】 原材料仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>71.4 P</u></p> <p>【建設業】 材料仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>63.6 P</u></p> <p>【小売業】 商品仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>65.1 P</u></p> <p>【サービス業】 仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値 = <u>57.8 P</u></p>	
<p>■採算（経常利益）</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲14.0 P</u></p> <p>【建設業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲22.3 P</u></p> <p>【小売業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲28.9 P</u></p> <p>【サービス業】 前年同期比 DI 値 = <u>▲26.3 P</u></p>	

### ■設備投資の将来の計画

【製造業】回答 50 社の内、5 社計画  
(投資内容)

生産設備=3 社、工場建物=2 社、車両・運搬具=1 社

【建設業】回答 45 社の内、9 社計画  
(投資内容)

車両・運搬具=3 社、土地・建物、OA 機器=各 2 社、建設機械、その他=各 1 社

【小売業】回答 83 社の内、4 社計画  
(投資内容)

販売設備=2 社、車両・運搬具、OA 機器=各 1 社

【サービス業】回答 110 社の内、14 社計画  
(投資内容)

車両・運搬具=7 社、付帯設備=3 社、サービス、OA 機器=各 2 社、建物、その他=各 1 社

### ■人手過不足の見通し

【製造業】 来期見通し DI 値=▲ 4.5P

【建設業】 来期見通し DI 値=▲ 2.3P

【小売業】 来期見通し DI 値=▲ 4.9P

【サービス業】 来期見通し DI 値=▲ 1.0P

### ■資金繰りの見通し

【製造業】 前年同期比 DI 値=▲ 4.1P

【建設業】 前年同期比 DI 値=▲ 9.1P

【小売業】 前年同期比 DI 値=▲17.1P

【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲19.5P

## 2 業界として抱える問題点・課題について

### 【製造業】

1 位：原材料価格の上昇 2 位：従業員確保難 3 位：需要の停滞  
4 位：生産設備の不足・老朽化 5 位：生産設備の過剰

### 【建設業】

1 位：材料価格の上昇 2 位：従業員確保難 3 位：民間需要の停滞  
4 位：官公需用の停滞 5 位：熟練技術者の確保難

### 【小売業】

1 位：仕入単価の上昇 2 位：購買力の他地域への流出 3 位：需要の停滞  
4 位：店舗の狭隘・老朽化 5 位：その他

### 【サービス業】

1 位：材料等仕入単価の上昇 2 位：需要の停滞 3 位：人件費以外の経費の増加  
4 位：利用者のニーズの変化 5 位：従業員確保難

## 3 道の施策等に対する意見、要望について

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・  大いに影響がある ・  影響がある ・  多少影響がある ・  影響はない ・  わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

- 原材料高の状況が続いており、悪い状況が続いている。
- 昨年より消耗品、燃料、生コンの値上げが複数回あり値上げのタイミングに苦労した。また、石材の仕入が為替での取引となるため、こちらも値上がりし石材の種類の変更の幅が狭くなり、売りにくい状況となっている。
- 度重なる原材料の高騰に加え、光熱費や燃料費等の負担額が激増しているが、その全てを売上に転化できない。今後の状況も分からず、見積額の設定が難しい。
- 原材料が高騰している。
- 燃料の値上げが懸念される。
- 燃料販売について、仕入単価の高騰による利益の低下により受注することができなかった。
- ガソリンの仕入れ額が上がっている。
- 1次産業のお客様が減少した。景気の悪さゆえ、期待していた御中元も減った。イベントはコロナ前に戻ったため、それなりの売り上げは確保出来た。異常な暑さが電気代高騰にさらに拍車がかかる。ガソリンの値上げも響く。
- 材料費が高くなったことによる仕入単価の上昇が顕著。それによる仕入先の減少が多大な痛手になっている。
- 消費者の高齢化に伴い宅配・移動販売サービスに顧客が流出。売上が減少しているため仕入れも減少している。価格高騰、物価上昇、経費の増加が続いているので非常に厳しい状況だ。
- 観光など人の動きに連動して売上が増減する商品ラインナップのため、インバウンドの復活など売上増の要因は揃っているものの、原料や資材高騰により足下が固まりきらない。猛暑により売れ筋商品に変化あり。
- 全てが高い、値上げすればすむ話ではない。
- 食材、燃料など高くなっているので利幅が少なくなっている。
- コロナの時より客は戻ってきているが仕入れ・経費が増え、利益はそれほど戻っていない。
- HOKKAIDO LOVE 割！など補助金がなくなり、宿泊客が伸び悩んでいる中、電気料や燃料費など経費がかさむことにより経営が悪化してきている。
- 主力であるイベントでの食品販売の業績が度重なる原材料の値上げで、原価率が大きく上昇し採算が合わないメニューも出てきた。メニューの再編と値上げ、アイテム数を増やして客単価を上げた。新型コロナの影響により低迷していたが、今期はほぼ完全に回復し、物価上昇の影響で客単価も上昇した。
- 資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。
- 経費や仕入単価も増加しており冬期間の燃料代が高額になり先が見えません。
- コロナも落ち着き、イベント行事も開催されるようになったため、営業売上自体は多少増加した。しかし、まだなお、材料等仕入単価の上昇やエネルギー高騰の影響は大きく資金繰りも難しい。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

・ 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ **ほとんどできていない** (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

○見積の価格競争激化 (材料費は上がっているが価格据え置き業者が増加している)

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<input type="checkbox"/> 正 規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰
<input checked="" type="checkbox"/> 非正規	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に不足	<input type="checkbox"/> 不 足	<input type="checkbox"/> 充 足	<input type="checkbox"/> 過 剰

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<input checked="" type="checkbox"/> 非常に深刻な影響を受けている	<input type="checkbox"/> 一定の影響を受けている	<input type="checkbox"/> 現在のところ影響はない
--	--------------------------------------	--------------------------------------

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

<p><input type="checkbox"/> 従業員の高齢化で、退職する人があり、その補充が難しい。慢性的な人手不足である。</p> <p><input type="checkbox"/> 従業員の高齢化になる前に次世代の方を入れたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 内部の人手不足に比べて、請負業者も人手不足であり、工事の受注が制限される現状である。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備工事に対しては従業員の不足により受注することができなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 人員の高齢化やブランクを感じている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外国人労働者の採用を検討したが言葉の壁や資金など懸念材料が多く、意図するものではなかった。即戦力となる人材の確保は難しい。昨年欠員となった整備士の補充が最優先。需要はあっても供給できないのがもどかしい。</p>
--

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

--

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：北海道中小企業団体中央会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <hr/> <p>【主な判断理由】</p> <p><b>【製造業】</b></p> <p>○食料品（留萌：水産食料品）  <span style="color: blue;">やや悪い</span>：為替変動による原材料の値上がりや確保の不透明感、人件費の上昇等、良い状況とは言えない。</p> <p>○紙・紙加工品（全道：加工紙）  <span style="color: blue;">悪い</span>：業界紙等の統計資料で悪い状況と判断できる。</p> <p>○印刷（全道：印刷）  <span style="color: blue;">悪い</span>：需要の減少に加え、原材料・電気・運送費等経費が全て上昇しているが、これらを全て製品価格に反映できていない。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）  <span style="color: blue;">非常に悪い</span>：生コン出荷量の前年同期比は91%と低水準。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  <span style="color: blue;">やや良い</span>：建造船受注単価の上昇、円安効果で経営状況が上向き。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械）  <span style="color: blue;">横ばい</span>：コロナ禍以前には戻らず、横ばいが続いている。</p> <p><b>【非製造業】</b></p> <p>○卸売業（札幌：各種商品）  <span style="color: blue;">やや悪い</span>：物価の高騰で消費が低迷、建築単価の上昇で計画の縮小・見直しの動きが広がり全般的に業況感はやや悪い。</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実）  <span style="color: blue;">悪い</span>：業界の買付額は青果物・生鮮食品の高騰により増額になったが、物量は比例しておらず業況は前期並みである。</p> <p>○卸売業（全道：木材）  <span style="color: blue;">悪い</span></p> <p>○小売業（函館：各種商品）  <span style="color: blue;">非常に良い</span>：9月の函館朝市は、1週目の週末に「はこだてグルメサーカス」、2週目の週末には「YOSAKOI ソーラン祭り道南大会 in 函館朝市」が開催とエリア内でのイベントが続き、3週目、4週目の連休期間を中心にコロナ禍以前の状況以上に賑わいが見られた。特に9月10日の「YOSAKOI ソーラン祭り道南大会 in 函館朝市」は、4年ぶりの開催ということで、見学者もさることながら参加者も地元チームのほか、本大会上位入賞チーム、北海道内のチーム、東京のチームの全18チームと大変多くのチームにご参加いただき、朝市の利用にも大きく貢献した。</p>

	<p>○小売業（全道：電気機械器具）  やや良い：夏の気温上昇で、エアコン等が売上げ上昇。</p> <p>○小売業（全道：燃料）  やや悪い</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具）  やや悪い：高温が続き農作物の生育状況に影響を受けた（葉物野菜）。  米農家は昨年並みで高温の影響がなく組合員は安心している。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品）  やや悪い</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場）  横ばい：燃料用重油価格の高止まり、営業用消耗品の値上がりが生じている。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア）  横ばい：企業のDX化に伴うクラウドサービスへの移行や業務効率化、セキュリティ対策の需要が底堅く堅調に推移して、システム開発案件は途切れることはないが、相変わらずの技術人材不足で思うような案件獲得ができていない。しかし、案件単価への価格転嫁が進みつつあることで、電気料金をはじめとするオフィスコスト増をカバーできる状況にはなっているものの、期待通りの利益確保には至らず、業況感の改善にはなっていない。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備）  横ばい：継続検査台数（車検）の微減はあるものの、新車販売台数は前年プラスで推移している。</p> <p>○建設業（札幌：大工工事）  悪い：人手不足の影響による労務費や外注費の増加、建材費の上昇など、コストアップが顕著になり、採算悪化が心配される。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事）  横ばい：受注額及び採算は横ばい。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）  やや良い：農作物の生育状況が早く、出荷量も増加した。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p><b>【製造業】</b></p> <p>○食料品（留萌：水産食料品）  単価は上昇傾向だが、売上高はほぼ横ばい状態。</p> <p>○紙・紙加工品（全道：加工紙）  売上高・売上単価は値上げの効果で伸びているが、受注数量と粗利率は競争激化で下降気味である。</p> <p>○印刷（全道：印刷）  売上高 減少している。  単価 多少は上げている。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）  原材料費高騰による価格改定が一巡。一部地域を除き積算単価に反映済み。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  売上高、売上単価 共に上昇。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械）  原材料・電気等エネルギーなどの高騰により、上昇傾向にある。</p> <p><b>【非製造業】</b></p> <p>○卸売業（札幌：各種商品）  仕入価格の上昇に伴い、値上げにより単価は上昇しているが、数量は伸びていない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卸売業（札幌：野菜・果実） 市場に出荷される商品単価と小売店の売上単価が一致せず、末端の消費者に価格転嫁が難しい状況が続いており、小売の立場が厳しくなっている。</li> <li>○卸売業（全道：木材） 前年対比 20%～25%減少。</li> <li>○小売業（函館：各種商品） 7月14日で終了した「全国旅行支援」の電子クーポン利用は、函館朝市でも年明けから順調に推移し、7月は半月ながら5月とほぼ同等の利用額となり、1月から終了までの期間合計額は、4,200万円以上の額面規模となった。繁忙期に入り、終了後も連日観光客で賑わいを見せ、コロナ禍前と遜色ない入込となった。</li> <li>○小売業（全道：電気機械器具） 売上高はやや上昇した。単価は原材料等の値上げに伴い上昇した。</li> <li>○小売業（全道：農業用機械器具） 畑作地区の組合員は減収減益。米作地区は刈取が終わり品質状況を確認している。酪農地区はの乳価買取価格は上がったものの、肥料燃料費増加で減収減益。</li> <li>○商店街（帯広：各種商品） 売上高の判断DI （今季の状況）7月～9月 13 （来季見通し）10～12月 ▲9</li> <li>○サービス業（全道：公衆浴場） 統制料金である入浴料金は、10月1日より大人・中人・小人料金が10円値上げ。</li> <li>○サービス業（全道：ソフトウェア） システム開発案件は多いが技術人材不足の影響で思ったような売上高の伸びにはつながっていない。しかし、案件単価への価格転嫁が徐々に浸透して売上高の伸びにつながり、オフィスコストの高騰による経費増をカバーしている。</li> <li>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</li> <li>○建設業（札幌：大工工事） 輸入価格の高騰により、原材料、仕入コスト、運賃等が高騰しているが、これに伴い売上単価にすぐ転嫁するのは難しい。</li> <li>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 運賃については、各社値上げ交渉して上昇の傾向にある。</li> </ul>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p><b>【製造業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食料品（留萌：水産食料品） 輸入する原材料は円安の影響を受けて値上げしている。一方、前浜での原料調達も見込まれており、為替リスクの低減を期待できる。燃料・輸送・電気等の負担増は大きくなっている。</li> <li>○紙・紙加工品（全道：加工紙） 高止まりから多少下げ傾向にある。</li> <li>○印刷（全道：印刷） 全て上昇している。</li> <li>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 生コン運搬費、骨材運搬費が上昇。</li> <li>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 資機材等の価格上昇が続いている。</li> <li>○一般機器（札幌：金属工作機械） 売上高以上に原材料等のコスト増となっている。</li> </ul>

	<p><b>【非製造業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○卸売業（札幌：各種商品） 材料・半製品の仕入価格が上昇しており、製品は段階的に値上げしている。 運賃の値上げ圧力が強く運送コストが上昇している。</li> <li>○卸売業（札幌：野菜・果実） 相変わらず輸送コスト・燃料代のコストが高く、政府の補助があったとしても、依然として厳しい。</li> <li>○小売業（全道：電気機械器具） 仕入価格は上昇しており、ガソリン代も上昇している。</li> <li>○小売業（全道：農業用機械器具） 生産飼料の高騰、原油高、と生活に係る全てのものの値上げが続いており、更にイスラエル問題で原油が再度上がるのではないかと懸念される。</li> <li>○商店街（帯広：各種商品） 仕入価格の判断 DI （今季の状況）7月～9月 65 （来季見通し）10～12月 47</li> <li>○サービス業（全道：公衆浴場） 営業に係る全てのものが値上がりしており厳しい状況である。</li> <li>○サービス業（全道：ソフトウェア） IT企業の原価は人件費やオフィス賃料、電気・ガス料金をはじめとするオフィスコストであるが、これらの上昇が収益を圧迫している。今後もオフィスコストが下がることはないとの予測を踏まえて、それに見合った案件単価への価格転嫁交渉を継続して地道に進めるしかない。</li> <li>○サービス業（全道：自動車整備） 上昇。</li> <li>○建設業（札幌：左官工事） 原材料の仕入れ単価は上昇。</li> <li>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 燃料費は異常に上がっている分、経費は増加している。</li> </ul>
エ. 収益の動向	<p><b>【製造業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食料品（留萌：水産食料品） 単価への転換は徐々に進んでいるが、生産コストの上昇が大きく、またどこまで続くのかも見通せない分、収益にも不安がある。</li> <li>○紙・紙加工品（全道：加工紙） 数量減と粗利率の低下と労務費アップの影響で悪化している。</li> <li>○印刷（全道：印刷） 悪い</li> <li>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 多くの地域の積算単価が改正されたことにより今後改善の見通し。</li> <li>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 徐々に収益改善されている。</li> <li>○一般機器（札幌：金属工作機械） 原材料等の高騰により、収益を押し下げている。</li> </ul> <p><b>【非製造業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○卸売業（札幌：各種商品） 価格転嫁で段階的に値上げしているが、仕入価格の上昇に追い付かず収益は低下傾向。</li> <li>○卸売業（札幌：野菜・果実） 小売の業況が厳しく、収益は良くない。</li> </ul>

	<p>○小売業（函館：各種商品） 8月の函館朝市は、ほぼコロナ前の状況に近く、日によってはそれ以上の賑わいが見られた。お盆期も道内のみならず、道外の観光客や帰省客が多く見受けられ、当団体が管理するお客様用駐車場も一ヶ月の利用額が前年比120%強となり、渋滞となる時間帯も目立った。しかしながら、食堂では仕入れ値の高騰により利益が圧迫され、物販店では消費マインドの冷え込みなどによって、思うように売り上げが伸びていない状況でもある。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 全般的に減収減益の傾向である。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 収益の判断DI （今季の状況）7月～9月 1 （来季見通し）10～12月 ▲17</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 入浴料金の値上がり分が即収益に反映されるのかは不明。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） IT企業の収益の源泉はシステム開発案数の確保と案件単価だが、やっと案件単価への価格転嫁が徐々にではあるが受け入れる発注元が増加してきたため、オフィスコスト増はカバーできつつあるが人件費増までのカバーは難しい状況。人材不足をある程度解消できれば案件の獲得増で収益が確実に確保できるが厳しい状態が続いている。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 横ばい。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 経費は上昇しているが、売り上げは全て追いついていない。</p>
オ. 設備投資の動向	<p><b>[製造業]</b></p> <p>○印刷（全道：印刷） 悪い</p> <p>○紙・紙加工品（全道：加工紙） 先が見えない状態のため、見合わせしている傾向である。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数近い工場がプラントの更新を課題の一つとして挙げているが、多くの工場は先送り。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 計画未定。</p> <p><b>[非製造業]</b></p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） 運送コスト削減のため物流拠点を見直すなど、コスト削減のための投資は行われているが、営業面での積極的な設備投資は低調。</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 収益が伴わず、設備投資は進んでいない。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 大手は農作業のAI化に向けた投資をしており、中小企業の組合員は期待している。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 現在設備の判断DI （今季の状況）7月～9月 ▲7 （来季見通し）10～12月 ▲6</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 大きな設備投資は出来ず、修理をしながら営業をしている。</p>

	<p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 投資は見られない。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） トラックは道具なので、定期的に入替しているが、値上がりは異常である。</p>
<p>カ．雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p><b>【製造業】</b></p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 常に人材の募集はしているが、不足の常態化は深刻な状況。</p> <p>○紙・紙加工品（全道：加工紙） 各社人手不足感は強く採用計画はあるようだ。</p> <p>○印刷（全道：印刷） 横ばい</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数近い工場が現状において人手不足。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 新卒者、中途採用予定。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 人手不足の状況が続いている。</p> <p><b>【非製造業】</b></p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） 技術者の人手不足が目立っており、人材育成に支障が出ている。採用には積極的であるが、思うような人材は集まりにくい状況にある。</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 円安により株価が上昇しており、それに伴い賃金も上昇傾向にある。当業界は物価高が顕著であり収益化は困難であるため、賃金を上げることは難しい。</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 8月31日某デパート最後の営業日となり、開店から61年の歴史に幕を下ろした。同デパートにはアルバイトを含む社員78人に加え、入居テナント32社の従業員90人計168人が勤務していた。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 中小は現状維持の状況である。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 雇用の判断DI （今季の状況）7月～9月 ▲36 （来季見通し）10～12月 ▲33</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 新規雇用の余力はない。家族経営であり人手は不足している。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 相変わらずの深刻な技術人材不足が続いているが、千歳市での半導体製造工場の建設に伴う関連産業の進出や政府主導によるデータセンターの道内への優先的整備によって、必要なIT技術人材数のさらなる増加が予測されている。 そのため、道内中小IT企業は即戦力となる人材の引き抜きが活発化する恐れがあることから、離職者の発生にも神経を尖らせている。さらに、賃金の上昇が拍車をかけて正規・非正規を問わず目先だけでなく、将来に向けての人材確保も悲観的にならざるを得ず、道内中小IT企業経営者の事業運営への悩みが増幅している。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 人手不足が続いている。整備士の人材確保が難しい。</p>

	<p>○建設業（札幌：大工工事） 建設業就業者の高齢化が進行しており、他産業と比較すると高齢化が著しい。その要因として、新規学卒者の建設業への入職率の低下が挙げられ、建設業の生産体制を将来にわたって維持するためには若年層の入職促進と定着による円滑な世代交代が不可欠と思われる。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 人手不足が多く見られる。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 相変わらずの人手不足。募集しても応募がないので、常に募集状態。</p>
キ．資金繰りの動向	<p><b>【製造業】</b></p> <p>○印刷（全道：印刷） 横ばい</p> <p>○紙・紙加工品（全道：加工紙） 特に変化はないが、コロナ融資の返済が始まり、与信管理を警戒している。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 資金繰り良好。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 悪くない。</p> <p><b>【非製造業】</b></p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） 安定している。</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 高金利が懸念されるため、資金繰りは厳しい。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 大手は良好。中小は苦戦している。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 資金繰りの判断DI （今季の状況）7月～9月 ▲17 （来季見通し）10～12月 ▲13</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 厳しい状況である。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 今のところIT業界は好況業種として捉えられているため、事業運営上の必要資金は金融機関から適時融資を受けている。道内中小IT企業が資金繰りに困窮しているという話は聞こえてこない。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 人手不足が多く見られる。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬） 何とかなっているが、化石燃料を使用し商売していると多めに必要であるので厳しい状況は続いていると思われる。</p>

(2) 来期（令和5年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

**[製造業]**

○食料品（留萌：水産食料品）

人件費を含め生産コストも一時の高騰常態ではないといえ継続すると思われ、大きく落ち込むことはないと思うが収益の減少は避けられない。

○紙・紙加工品（全道：加工紙）

北海道は全体が閑散期に入り、需要が減退する時期である。令和5年産の農産物の作況も悪く、競争が激化すると思われる。輸送費も値上げの見積もりが見られ、サーチャージも上がった。収益はさらに悪化すると思われる。

○印刷（全道：印刷）

現状とほぼ同じ

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

生コン出荷量については、新幹線以外にラピダス関連の特需が見込める状況。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

受注量の増加で来期は良好。

○一般機器（札幌：金属工作機械）

売上高等コロナ禍以前には戻っておらず、このまましばらく低迷が続くと思われる。

**[非製造業]**

○卸売業（札幌：各種商品）

売上高は現状維持程度と見ているが、仕入価格・販売単価とも上昇傾向は続く見通し。イスラエル問題が中東の原油価格に与える影響が懸念される。

○卸売業（札幌：野菜・果実）

年末年始の需要増に期待したいが、物価高の状況下ではあまり期待できない。

○卸売業（全道：木材）

住宅着工減少により先行きが不透明。

○小売業（函館：各種商品）

10月からはHOKKAIDO LOVE!割「秋冬キャンペーン」、11月からは「函館市プレミアム付商品券」が、それぞれスタートするため、年末商戦に向けて大いに期待が持てる。また、好調なインバウンド入り込みにおいて、食堂のみならず、物販店での利用にも直結させていかなければならない。当団体としても、店舗の売上拡大に向け、ウェブ上の店舗情報の整備やインバウンドを中心としたニーズ調査に着手する予定である。

○小売業（全道：電気機械器具）

各地区でカーボンニュートラルの関係で省エネ商品に購入ポイントを付与していることもあり、やや上昇に転じると思われる。

○小売業（全道：農業用機械器具）

組合員の状況は、全般に減収減益で（9月現在）現状維持の状況である。

○商店街（帯広：各種商品）

地元金融機関の小売業の判断 DI

（来季見通し）10～12月 ▲17

○サービス業（全道：公衆浴場）

経費削減等により現状維持で経営を続けていきたい。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

道内中小 IT 企業では来期についても引き続き、企業の DX 化に伴うクラウドサービスへの移行や業務効率化、セキュリティ対策の需要が底堅く推移してシステム開発案件の増加が続くことから堅調な業績の推移となりそうだ。さらに、チャット GPT に代表される生成 AI 絡みのシステム開発案件の伸長が予測されている。しかし、技術人材不足で受注したくてもできないケースの発生や、専門性の高い技術スキル人材の不足の顕在化で思うように受注できない問題点も発生している。やっとなり案件単価への価格転嫁が進展して売上げの伸長が期待されているが、離職者防止や人件費の高騰、そして電気料金に代表されるオフィスコスト増が収益を圧迫する構造が続いて、売上げ増が収益向上につながっていない。また、既存人材への AI 等の高度技術を習得させる高額だが必須なリスキニング教育受講も喫緊の課題となっている。

- サービス業（全道：自動車整備）  
横ばい。  
新車販売も順調で経済活動が正常化してきているが物価高（仕入値の上昇）は続いている。
- 建設業（札幌：大工工事）  
新築住宅や省エネ住宅の建設需要の高まりが予想される。住宅ローン減税の延長や子育て世代への補助金など、住宅を購入しやすい環境が若干見込まれる。
- 建設業（札幌：左官工事）  
横ばいの状況が見込まれる。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）  
経費の上昇分をどのように吸収し、運賃の値上げ（交渉）をするか次第で変わる。物価の上昇と共に一般商品の値上がりで消費がしぼんでしまったら、運ぶ物も減る。

## 2 業界として抱える問題点・課題について

- [製造業]**
- 食料品（留萌：水産食料品）  
単価への転嫁がコストの上昇を吸収できるか判断が難しい。
  - 紙・紙加工品（全道：加工紙）  
業界の構造上、製紙会社寡占化が進み6社でのシェアが92%もあり、さらに原材料費の売価に占める割合が7割以上と高いので自由度が少ない。競合するのは大手製函メーカーや彼らが安売りした包装資材販売ディーラーで市場がどんどん狭くなってきている。  
また、広大な北海道では2024年の輸送問題も注視しなければならない。雇用については人手不足感が強い。DXやゼロカーボンにも取り組まなければならないが、やるが多すぎて手が回らない。
  - 窯業・土石製品（全道：生コンクリート）  
人材確保と技術者の育成。  
地方において、生コンを供給する工場体制を維持するためには一定量の需要が必要。このため、地方における生コン需要の創出（コンクリート舗装等）が課題。
  - 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  
造船業界は低迷時の人員整理で、造船労働者が減少し、人手不足が生じている。人材の確保、人材育成が今後の課題。
- [非製造業]**
- 卸売業（札幌：各種商品）  
人材確保と人材育成。技術者不足により若手の育成が遅れ、世代交代が進まない。  
経営者の後継者問題。
  - 小売業（全道：電気機械器具）  
個人店としては、高齢化問題が現実のものとなり、廃業店が増加することは避けられない。
  - 小売業（全道：燃料）  
石油販売業界は、売上が原油価格に大きく左右される業界。  
7～9月期の中東原油価格をみると、5月は1バレル当たり75ドル前後で推移したが、その後右肩上がりとなり、8月は月間を通して1バレル当たり約86ドル、9月に入るとさらに上昇し、月半ば以降は1バレル当たり95ドル前後の高値となった。この間、北海道におけるガソリンのSS店頭小売価格は、政府の燃料油価格激変対策事業による補助額の縮小も重なったことから徐々に上昇し、8月末には1リットル183円までに高騰した。9月に入り、政府が補助を再び拡大させたため、月末には1リットル当たり175円程度まで下落した。  
また、ガソリン出荷量については、全国ベースでみると、お盆期間を除き低調で推移し、前年を下回る結果となった。  
なお、政府の燃料油価格激変対策事業は、現時点では年末まで延長されることになっており、石油製品のSS店頭小売価格は高値ながらも安定した価格で推移するものと思われる。
  - 小売業（全道：農業用機械器具）  
農業従事者の高齢化、担い手不足、重労働、汚いなど農業を取り巻く環境は以前に増して厳しい。それでも農業機械のAI活用（自動田植機、自動トラクター、ドローンでの労働軽減）、酪農業の自動化（乳搾り）など労働力不足解消のため、努力をしているところである。

- 商店街（帯広：各種商品）
  - ・経営上の問題点
    - 売上停滞・減少、仕入先からの値上げ要請、人手不足、利幅の縮小、商圏人口の減少、人件費の増加
  - ・当面の重点経営施策
    - 経費を節減する、人材を確保する、品揃えを改善する、売れ筋商品を取り扱う、仕入先を開拓・選別する、宣伝・広告を強化する
- サービス業（全道：公衆浴場）

経営者の高齢化、後継者難、設備及び施設の老朽化。
- サービス業（全道：ソフトウェア）
  - ・相変わらずの技術人材不足
    - 企業の業務効率化のためのDX化や、セキュリティ対策の需要が堅調に推移してシステム開発案件が増加しているが、技術人材不足で満足に受注できておらず、売上げに貢献できていない。新卒、中途採用、女性（専業主婦）、シニア等の採用も思ったようには進んでいない。
  - ・技術人材の転職者の発生
    - 道外からのラピダス絡みの関連企業進出によって技術人材の雇用が増加し、高賃金で即戦力の人材が道内中小IT企業からの引き抜きで転職している。
  - ・既存技術人材へのAI等の高度技術リスキニング教育
    - 求められるクラウドエンジニア、セキュリティ人材、AIエンジニアを早急に育成したいが、時間、教育方法、コストの負担が大きく、道内中小IT企業単独での育成が難しい。早急に手を打たないと今後の事業経営に大きな影響を与えることになる。
  - ・システム開発案件単価への価格転嫁
    - 発注元の理解で徐々には価格転嫁が容認されて案件単価が上昇しているが、満足できる単価レベルには至っておらず、オフィスコスト増には対応できてきたが、高騰する人件費の収益への圧迫は解消できていない。
  - ・経営者の高齢化に伴う事業承継
    - 現経営者の高齢化に伴う後継者の育成やM&Aを含めた事業承継の検討を始める道内中小IT企業経営者が増えている。
- サービス業（全道：自動車整備）
  - ・人材確保難
    - 若年層の車離れ、整備士養成施設への入学者数の減少等から、若い整備士の確保が難しい状況にある。
  - ・新技術対応
    - 電気自動車や自動運転等の新機構を備えた自動車に対応した整備技術の高度化（習得）は業界の課題となっている。
- 建設業（札幌：左官工事）

人材確保。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）

人材確保と、燃料油の高騰による経費の大幅な増加。

### 3 道の施策等に対する意見、要望について

#### [製造業]

##### ○紙・紙加工品（全道：加工紙）

1次産業が主体の北海道において冬季間の閑散期対策を求める。たとえば、企業誘致とか貯蔵した農産物の6次化の推進など、アイデアを出して通年安定した仕事があるのが理想である。輸送の問題や冬季のエネルギーコスト問題も北海道は不利である。薄利多売なのに、事業所税の負担も工場面積が広く負担である

##### ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

ライフサイクルコストで有利となるコンクリート舗装の普及拡大。

#### [非製造業]

##### ○卸売業（札幌：各種商品）

国の施策は大企業優先としか見えない。地方は中小企業に手厚い施策を望む。

##### ○卸売業（札幌：野菜・果実）

「出荷奨励金」など道の生鮮流通における予算を拡充して欲しい。

##### ○小売業（函館：各種商品）

現在、当連合会でも参加している函館市のふるさと納税返礼品について、現行の制度のほかに地域振興券（商品券）のような制度を盛り込んでほしい。

##### ○小売業（全道：電気機械器具）

北海道として、カーボンニュートラル対策を消費者向けにキャンペーンを実施してほしい。各都府県は実施している地域が多い。

##### ○サービス業（全道：ソフトウェア）

従来から道内中小IT企業が抱える、技術人材不足や価格転嫁、後継者問題、事業承継、既存技術者のAI等の高度技術/知識の習得等の問題点・課題に加えて、大手半導体工場の建設や政府が北海道をデータセンター拠点として優先的に整備する方針を示したことは、北海道としては経済的効果や雇用人口の増加につながるから歓迎するのは当然ではあるが、IT業界から見ると、以下の新たな問題や課題の発生が顕在化している。人材の流動が他の業界に比べて激しい業種ではあるが、高賃金を謳い文句にして進出する道外からのIT系企業へ、即戦力となる道内中小IT企業からの転職者が増加して、人材不足がさらに深刻化することが予測されている。その結果、業績悪化へとつながることが懸念されている。

## II 特別調査

### 1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の高騰は、貴団体業界にどの程度、影響があるかご教示下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

・ 大いに影響がある    ・ 影響がある    ・ 多少影響がある    ・ 影響はない    ・ わからない

(2) (1) による影響の具体的な内容及び対応についてご教示下さい。

#### [製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

大いに影響がある：特定の項目というより生産コスト上昇のすべてに影響がある。

○紙・紙加工品（全道：加工紙）

大いに影響がある：燃料の値上げから原紙価格が複数回値上げになった。輸送費も値上げになった。インクや結束ひもなどの副資材も値上げとなった。機械部品も値上げとなった

○印刷（全道：印刷）

大いに影響がある：仕入価格や燃料費増加、輸送費の上昇による収益の悪化。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

大いに影響がある：資機材仕入れ単価の上昇等。

○一般機器（札幌：金属工作機械）

大いに影響がある：仕入価格や燃料費増加、輸送費の上昇による収益の悪化。

#### [非製造業]

○卸売業（札幌：各種商品）

影響がある：燃料価格の上昇に伴う物流コストの増加に加え、2024年問題による更なる収益への影響懸念。配送センターの新設等物流体制の見直し。

○卸売業（札幌：野菜・果実）

大いに影響がある：配送運賃や出荷コスト

○卸売業（全道：木材）

影響がある：電気、燃料の高騰によりコストアップ。

○小売業（函館：各種商品）

大いに影響がある：エネルギー資源の高騰は、直接的な店舗運営への影響のみならず、第一次産業の燃料コストにも大きく響き、ひいては原材料の高騰にも繋がる。各店舗においても、物販店・食堂問わず、どの仕入れ品目においても、原材料費が軒並み高騰しており、品目によっては10倍以上に跳ね上がっている食材もある。

○小売業（全道：電気機械器具）

多少影響がある：商品の値上げにより、買い控えが増える。

○小売業（全道：燃料）

大いに影響がある：原油価格の高騰は、そのままガソリン等石油製品の仕入価格の上昇となる。石油販売事業者としては、SS店頭価格に上昇分を転嫁せざるを得ないが、石油製品はどこのSSでも品質に差がないため、価格競争に陥りやすい。

○小売業（全道：農業用機械器具）

影響がある：運送費用・肥料・薬代の高騰等が、収益を悪化させている。一部分は価格に転換している。

○サービス業（全道：公衆浴場）

影響がある：仕入れ価格が高騰している。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

多少影響がある：原油・原材料価格等の高騰による直接的な影響は電気・ガス料金やオフィス賃料等のオフィスコストの上昇であるが、特に、業務遂行上必要不可欠な電気料金の値上がりのインパクトが大きい。

また、回避できない人件費の高騰も収益を悪化させている。現状では徐々に案件単価への価格転嫁が進んで、収益改善につながっているが、期待するレベルには至っていない。自助努力では不必要な照明のカットやこまめな節電、残業や不必要な出張の削減を呼びかけ、省エネ機材の導入も実施している。

- サービス業（全道：自動車整備）  
**多少影響がある**：原油価格の高騰により、燃料（ガソリン・軽油）、エンジンオイル、ギヤオイル、クーラント等の価格が値上がりしている。販売価格への転嫁は行われているものの、燃料代等の経費に係るもの全てを転嫁できているとは言えない。
- 建設業（札幌：大工工事）  
**影響がある**：木材、石油、鋼材原料の鉄鉱石や石炭などの輸入価格が高騰し、メーカーも値上げせざるを得ない状況になっている。原材料価格の高騰により塩ビ管、H形鋼、塗料、内装材も断続的な値上がりを見せ、原材料価格だけでなく運賃高騰も値上がりに影響を及ぼしている。特に国内は木材の供給が需要に追いつかず、またコロナウイルス対策で生産工場が閉ざされて、部品不足も高騰する原因となっている。
- 建設業（札幌：左官工事）  
**影響がある**：材料の仕入れ単価上昇が生じており、請負金額に反映できるよう事業所ごと取引先と調整している。

(3) 価格転嫁は、業界ではどの程度進んでいますか。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

- ・ **全てできている** (10割)
- ・ **概ねできている** (9~6割)
- ・ **半ばできている** (5~3割)
- ・ **ほとんどできていない** (2割未満)
- ・ **全くできていない** (ゼロ)

(4) 価格転嫁が進んだ理由等について、具体的にご教示下さい。

- 【製造業】**
- 食料品（留萌：水産食料品）  
**半ばできている**：消費者の価格上昇に対する理解が発注者側の抵抗に反映している。
  - 紙・紙加工品（全道：加工紙）  
**概ねできている**：原材料費率が高く値上げしなければ即座に経営できなくなるため。
  - 印刷（全道：印刷）  
**半ばできている**：発注側の適正価格への理解が進んだ。
  - 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  
**ほとんどできていない**
  - 一般機器（札幌：金属工作機械）  
**概ねできている**：原材料等の値上げによる理解がある程度得られた。
- 【非製造業】**
- 卸売業（札幌：各種商品）  
**概ねできている**：全体的な価格上昇圧力と丁寧な説明により適正価格への理解が進んでいる。価格上昇に対し諦めの思考となっている。
  - 卸売業（札幌：野菜・果実）  
**ほとんどできていない**
  - 卸売業（全道：木材）  
**ほとんどできていない**
  - 小売業（全道：電気機械器具）  
**半ばできている**：原材料、運賃の値上げに対応するため。
  - 小売業（全道：燃料）  
**概ねできている**：石油販売事業は、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁しないと利益が出ないため、転嫁せざるを得ない。
  - 小売業（全道：農業用機械器具）  
**概ねできている**：顧客へ説明できている。
  - サービス業（全道：ソフトウェア）  
**半ばできている**：発注側と見積もり段階から案件単価ごとに物価上昇や人件費の高騰をアピールして粘り強い価格転嫁交渉を継続することで理解を得ている。開発案件は一度取り引きを開始すると、業務効率を考えると次の案件も継続契約するケースが多く、発注先を変えることには消極的なことから、案件毎の単価交渉に応じるようになってきた。

- サービス業（全道：自動車整備）
  - 半ばできている：タイヤ、オイル等の部品料金などは、値上げ幅が大きく、転嫁せざるを得ない。最近の情勢として、適正価格への理解が進んでいると思われる。
- 建設業（札幌：大工工事）
  - 半ばできている：契約時と着工時の仕入単価の上昇は、再見積りによる金額変更が認められた。
- 建設業（札幌：左官工事）
  - 半ばできている：発注側の適正価格への理解が進んだ。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）
  - 半ばできている：経費の削減は当然しているが、人件費も含め効率化を図っている。IT 点呼、ロボット点呼等の導入。

(5) 価格転嫁が進まない理由等について、具体的にご教示下さい。

- 【製造業】**
- 食料品（留萌：水産食料品）
    - 半ばできている：物価上昇による購買意欲の冷え込みを考慮すると、商品価格を上げることは難しい面もあり、また量目を減らし価格を抑える手法は人手の増加を伴うことがある。
  - 紙・紙加工品（全道：加工紙）
    - 概ねできている：大手ユーザーとの競合の中では、価格転嫁をすべて行えない。また、一部メーカーの姿勢が値上げを考えていない。
  - 印刷（全道：印刷）
    - 半ばできている：度重なる値上げで、何回も重ねて価格改定の要請ができない。
  - 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）
    - ほとんどできていない：独占企業のため進まない。
  - 一般機器（札幌：金属工作機械）
    - 概ねできている：価格転嫁（値上げ）により、発注量の減少・取りやめ等につながる可能性がある。
- 【非製造業】**
- 卸売業（全道：木材）
    - ほとんどできていない：需要と供給のバランスが悪い。
  - 卸売業（札幌：野菜・果実）
    - ほとんどできていない：小売業の場合は消費の冷え込みが懸念される。
  - 小売業（函館：各種商品）
    - ほとんどできていない：世間の消費マインドも停滞している状況下において、エネルギーの高騰をそのまま販売価格に転嫁することは、消費低迷を益々加速させてしまうのではないかと、なかなか踏み切れない。
  - サービス業（全道：公衆浴場）
    - ほとんどできていない：入浴料金が統制料金であるため価格の転嫁は出来ない。販売している飲料、備品についても仕入れ価格の値上がりを転嫁するのは難しい。
  - サービス業（全道：ソフトウェア）
    - 半ばできている：価格転嫁が進んではいるが、期待レベル以下の案件単価も含んでいる。道内中小 IT 企業は 1 次、2 次の発注元からの案件受注が多く、1 次、2 次発注元がその上の発注元との間での価格転嫁ができているかいないかで、道内中小 IT 企業への価格転嫁の容認が決まる。  
また、案件内容にもよるが、価格転嫁交渉をしすぎると取引停止となる懸念もあるため、なかなか踏み込んでの交渉が難しいケースも多い。関係悪化は避けたいためケースバイケースで対応せざるを得ない。
  - サービス業（全道：自動車整備）
    - 半ばできている：値上げ幅が少額のものとは後回しとなる。また、短期間に複数回の値上げがあったものには対応（転嫁）が追いついていない。
  - 建設業（札幌：左官工事）
    - 半ばできている：個人相手の場合は、取引先を失う恐れがある。

(6) 価格転嫁以外の対応策について、具体的にご教示下さい。

**[製造業]**

- 食料品（留萌：水産食料品）  
サイズを変更し価格を据え置く対応があるが、生産ラインの変更等難しい面もある。
- 紙・紙加工品（全道：加工紙）  
一年を通して安定的な受注があり、生産計画も設備投資も先の見通せる状況にすること。
- 印刷（全道：印刷）  
経費削減
- 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  
コスト削減に向けた収益の確保

**[非製造業]**

- 卸売業（札幌：各種商品）  
在庫の見直し、発注方法の変更、サイズ・種類の縮小によるロスの低減。
- 卸売業（札幌：野菜・果実）  
共同仕入によるコスト低減。
- 小売業（函館：各種商品）  
販売サイズ（容量の調整）をしている店舗が多い。
- 小売業（全道：電気機械器具）  
二酸化炭素削減を掲げて、省エネタイプの高級機を扱って単価を上げる。
- 小売業（全道：農業用機械器具）  
経費の見直し AI 推進。
- サービス業（全道：公衆浴場）  
営業時間の短縮、定休日の増加により経費の削減。
- サービス業（全道：ソフトウェア）  
オフィス内での不必要な照明のカットやこまめな節電、残業削減や休日出勤の禁止、テレワーク拡大でのオフィス賃貸スペースの返却、出張等の削減による経費の節減、省エネ機器の導入。
- サービス業（全道：自動車整備）  
企業努力によりコスト増分を吸収し、利益幅を減らすという対応が多い。
- 建設業（札幌：左官工事）  
経費削減。
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）  
経費の削減は当然しているが、人件費も含め効率化を図っている。IT 点呼、ロボット点呼等の導入。

## 2 人手不足の状況について

(1) 貴団体業界における充足の度合いについてご記入願います。

<b>正規</b>	・非常に不足	・不足	・充足	・過剰
<b>非正規</b>	・非常に不足	・不足	・充足	・過剰

[製造業]	正規	非正規
食料品（留萌：水産食料品）	不足	不足
紙・紙加工品（全道：加工紙）	不足	不足
印刷（全道；印刷）	不足	充足
鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）	不足	非常に不足
一般機器（札幌：金属工作機械）	不足	—
[非製造業]		
卸売業（札幌：各種商品）	不足	不足
卸売業（札幌：野菜・果実）	不足	不足
卸売業（全道：木材）	充足	充足
小売業（函館：各種商品）	不足	不足
小売業（札幌：電気機械器具）	不足	不足
小売業（全道：農業用機械器具）	不足	不足
サービス業（全道：公衆浴場）	不足	—
サービス業（全道：ソフトウェア）	非常に不足	不足
サービス業（全道：自動車整備）	不足	不足
建設業（札幌：大工工事）	不足	不足
建設業（札幌：左官工事）	不足	不足
運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）	不足	不足

(2) 上記(1)で「非常に不足」「不足」と回答された場合、どの程度影響を感じていますか。

<p>・非常に深刻な影響を受けている      ・一定の影響を受けている      ・現在のところ影響はない</p>
<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 非常に深刻な影響を受けている</p> <p>○印刷（全道：印刷） 現在のところ影響はない</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 非常に深刻な影響を受けている</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 現在のところ影響はない</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：各種商品） 一定の影響を受けている</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 非常に深刻な影響を受けている</p>

- 卸売業（札幌：野菜・果実）  
非常に深刻な影響を受けている
- 卸売業（全道：木材）  
現在のところ影響はない
- 小売業（函館：各種商品）  
一定の影響を受けている
- 小売業（全道：電気機械器具）  
非常に深刻な影響を受けている
- 小売業（全道：農業用機械器具）  
一定の影響を受けている
- サービス業（全道：公衆浴場）  
一定の影響を受けている
- サービス業（全道：ソフトウェア）  
一定の影響を受けている
- サービス業（全道：自動車整備）  
一定の影響を受けている
- 建設業（札幌：大工工事）  
一定の影響を受けている
- 建設業（札幌：左官工事）  
一定の影響を受けている
- 運輸業（小樽：一般貨物自動車運搬）  
一定の影響を受けている

(3) 上記(2)で「非常に深刻な影響を受けている」、「一定の影響を受けている」と回答された場合、その内容をご教示ください。

- [製造業]**
- 食料品（留萌：水産食料品）  
人手不足による発注者への対応が困難な状況がある。
  - 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  
人員不足等で納期遅れが生じている。
- [非製造業]**
- 卸売業（札幌：各種商品）  
従業員一人当たりの事務量が増え、負担が増加している。  
後継者を指導する余裕がなく、技術やノウハウの伝承が遅れている。
  - 卸売業（札幌：野菜・果実）  
深夜・早朝の作業があり、人件費が高騰しやすい。
  - 小売業（函館：各種商品）  
売上減少（特に対応不足による機会損失）。
  - 小売業（全道：電気機械器具）  
土日休みでないと、人材の紹介を受けられにくい困難な状況である。
  - 小売業（全道：農業用機械器具）  
農業従事者の高齢化、担い手不足、若者の農業離れ。
  - サービス業（全道：公衆浴場）  
廃材を燃料としている浴場を運営する高齢者にとっては、廃材確保や風呂掃除等が重労働。
  - サービス業（全道：ソフトウェア）  
技術系人材が前年に比べて増えていない道内中小 IT 企業も多く、逆に減員している企業も多い。  
新卒や中途採用もなかなか難しく、転職者も増加傾向となっている。人材の流動が激しい IT 業界ではあるが、直近では、半導体製造工場の建設に伴う関連企業の進出や、北海道が政府推奨のデータセンター整備地域になったことから、道外からの IT 企業の進出が確実視されて、すでに IT 技術者の募集を始めた企業も散見されている。今後も高賃金を謳い文句にした引き抜きやヘッドハンティングも予測されるなど、道内中小 IT 企業にとっては効果的な対応策が難しく、厳しい状態が続きそうだ。

- サービス業（全道：自動車整備）  
人手不足、時間外労働削減などから、整備の受注を制限したり、納期が延びたりしているところがある。
- 建設業（札幌：大工工事）  
従業員の退職が増加する。
- 建設業（札幌：左官工事）  
機会損失（引き合いに対応できない）。

(4) 上記(1)で「非常に不足」、「不足」と回答された場合、人手不足の緩和に向けた対策の内容をご教示ください。

- [製造業]**
- 食料品（留萌：水産食料品）  
労働環境のさらなる改善、事業の選別等が考えられる。
  - 紙・紙加工品（全道：加工紙）  
完全週休二日制、賃金の引き上げ、有給休暇100%消化、残業無し、工場であろうと冷暖房完備など、北海道の当業界では夢のような話であるが近づけなければならない。
  - 鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）  
退職者の再雇用、外国人労働者の受入れに向けた取り組み。
  - 一般機器（札幌：金属工作機械）  
受注量減により、さほどの影響は出ていない。
- [非製造業]**
- 卸売業（札幌：各種商品）  
賃金の引き上げ、就業規則の見直しによる働きやすい職場環境づくり、定年延長、定年後の嘱託期間の延長。
  - 卸売業（札幌：野菜・果実）  
定年延長。
  - 小売業（函館：各種商品）  
賃金や時給の引き上げ、事業の縮小、見直し（営業時間短縮や店舗統合など）。
  - 小売業（全道：農業用機械器具）  
農作業機械化（AI）等の推進。
  - サービス業（全道：公衆浴場）  
営業時間の短縮、定休日の増加。
  - サービス業（全道：ソフトウェア）  
現状での自助努力での人手不足緩和策は、生産性向上策と現有人材の活用と採用が考えられる。
    - ・生産性向上策  
主業務に集中するため、自社内の不必要業務を洗い出してDX化を進めている。  
AI(チャットGPT等)の活用で、プログラム開発のベース部分のコード化を自動化する技術開発を進める道内中小IT企業が出始めている。  
委託先(ビジネスパートナー)を活用して獲得案件数を拡大する。
    - ・人材の活用と採用  
新卒予定者へのインターンシップでの選別と囲い込み。  
定年延長や再雇用によるシニア技術人材の活用。  
海外の高度技術人材の雇用促進。  
技術人材の専業主婦(子育て中)のテレワーク採用。
  - サービス業（全道：自動車整備）
    - ・将来的な人材確保に向け、高校訪問（国との共働）や職場体験の実施。
    - ・職場環境改善（賃金、施設、福利厚生など）への取り組み。
    - ・外国人労働者の雇用（実習制度の活用）。
    - ・退職者の再雇用（女性、非常勤含む）。
  - 建設業（札幌：大工工事）  
新幹線の札幌延伸および関連工事の延期に伴い、人手不足が若干緩和すると思われる。
  - 建設業（札幌：左官工事）  
外国人労働者の雇用。

# 業種別業況動向調査 [令和5年7-9月期]

団体名：北海道信用保証協会

## I 一般調査

### 1 業界の動向

(1) 今期（令和5年7-9月期）の現状について

項目	内容																												
ア. 業界団体における業況感	<p><b>【現状】</b></p> <p><b>■保証状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度（9月末時点）の保証承諾は12,125件（前年同月比121.7%）、170,559百万円（前年同月比143.9%）。</li> <li>増加の主要因は、ゼロゼロ融資の返済開始本格化に伴い、ゼロゼロ融資の借換が可能な伴走支援型特別保証の申込が増加したため。</li> </ul> <p>業種別（主要業種）では、</p> <table> <tr><td>製造業</td><td>16,264百万円（前年同月比140.9%）</td></tr> <tr><td>建設業</td><td>48,381百万円（前年同月比139.6%）</td></tr> <tr><td>卸売業</td><td>21,064百万円（前年同月比140.6%）</td></tr> <tr><td>小売業</td><td>20,859百万円（前年同月比147.6%）</td></tr> <tr><td>飲食業</td><td>7,418百万円（前年同月比244.9%）</td></tr> <tr><td>運輸倉庫業</td><td>11,000百万円（前年同月比131.2%）</td></tr> <tr><td>サービス業</td><td>29,840百万円（前年同月比149.1%）となった。</td></tr> </table> <p><b>■代位弁済状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度（9月末時点）の代位弁済は759件（前年同月比129.1%）、7,592百万円（前年同月比121.9%）と増加。</li> <li>不安定な円相場、人員不足や原油・原材料・エネルギー・資材価格の高騰、漁業関係者を中心としたALPS処理水処分に関する風評被害など事業者を取り巻く経営環境は厳しさを増している。</li> </ul> <p>業種別（主要業種）では、</p> <table> <tr><td>製造業</td><td>569百万円（前年同月比66.1%）</td></tr> <tr><td>建設業</td><td>2,199百万円（前年同月比222.8%）</td></tr> <tr><td>卸売業</td><td>570百万円（前年同月比67.6%）</td></tr> <tr><td>小売業</td><td>917百万円（前年同月比127.5%）</td></tr> <tr><td>飲食業</td><td>602百万円（前年同月比134.0%）</td></tr> <tr><td>運輸倉庫業</td><td>676百万円（前年同月比59.7%）</td></tr> <tr><td>サービス業</td><td>1,602百万円（前年同月比140.7%）となった。</td></tr> </table>	製造業	16,264百万円（前年同月比140.9%）	建設業	48,381百万円（前年同月比139.6%）	卸売業	21,064百万円（前年同月比140.6%）	小売業	20,859百万円（前年同月比147.6%）	飲食業	7,418百万円（前年同月比244.9%）	運輸倉庫業	11,000百万円（前年同月比131.2%）	サービス業	29,840百万円（前年同月比149.1%）となった。	製造業	569百万円（前年同月比66.1%）	建設業	2,199百万円（前年同月比222.8%）	卸売業	570百万円（前年同月比67.6%）	小売業	917百万円（前年同月比127.5%）	飲食業	602百万円（前年同月比134.0%）	運輸倉庫業	676百万円（前年同月比59.7%）	サービス業	1,602百万円（前年同月比140.7%）となった。
製造業		16,264百万円（前年同月比140.9%）																											
建設業		48,381百万円（前年同月比139.6%）																											
卸売業		21,064百万円（前年同月比140.6%）																											
小売業		20,859百万円（前年同月比147.6%）																											
飲食業		7,418百万円（前年同月比244.9%）																											
運輸倉庫業		11,000百万円（前年同月比131.2%）																											
サービス業	29,840百万円（前年同月比149.1%）となった。																												
製造業	569百万円（前年同月比66.1%）																												
建設業	2,199百万円（前年同月比222.8%）																												
卸売業	570百万円（前年同月比67.6%）																												
小売業	917百万円（前年同月比127.5%）																												
飲食業	602百万円（前年同月比134.0%）																												
運輸倉庫業	676百万円（前年同月比59.7%）																												
サービス業	1,602百万円（前年同月比140.7%）となった。																												
イ. 売上高、売上単価の動向																													
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向																													
エ. 収益の動向																													
オ. 設備投資の動向																													
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入																													
キ. 資金繰りの動向																													